

令和6年度 学校経営計画書（全日制）

学校番号	51	学校名	静岡県立島田商業高等学校（全日制）	校長名	増田 章江
------	----	-----	-------------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

志太・榛原地区の商業教育の拠点校として、身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジする教育活動を通して、地域社会で活躍できる生徒の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>商業の専門高校として「身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジすることで、地域社会で活躍する生徒」を育成します。</p> <p>(1) ビジネスマナーを習得し、社会のルールや人との約束を守る規律性、他者と円滑な人間関係を築き、課題解決に向けて協調して取り組むことができるコミュニケーション能力を育成します。</p> <p>(2) 商業に関する専門性を深め、身に付けた知識・技術を活用しながら、それを地域や社会に応用・実践できる能力と態度を育成します。</p> <p>(3) より良い地域社会の構築を目指して主体的に学び、探究活動、部活動、特別活動、商業教育、キャリア教育を通して豊かな人間性を育成します。</p>	<p>基礎学力の定着を図るとともに、専門教科の協働的で実践的な学びを通して、これからのビジネス社会に必要な力を育成します。</p> <p>(1) 基礎学力の定着を図り、商業の専門性を進化させ、生徒の適性・特性に応じた進路実現に即した教育課程を実現します。</p> <p>(2) 地域の産業界や各機関と連携し、体験的・実践的な学習活動を実施します。</p> <p>(3) ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実施します。</p> <p>(4) 部活動・特別活動・課題研究等の探究活動・キャリア教育を通じて、豊かな心と健やかな体を育成する教育活動を実施します。</p>	<p>本校では、入学時に次のような生徒を求めます。</p> <p>(1) 自分自身の存在を肯定し、途中であきらめず、失敗を恐れず自分で考え、行動しようとする生徒。</p> <p>(2) 身近な課題に主体的にチャレンジし、地元で活躍したいと考えている生徒。</p> <p>(3) 商業（ビジネス）活動に関する興味・関心と意欲を持ち、粘り強く資格取得を目指し、自分の夢に向かって邁進できる生徒。</p> <p>(4) 生徒会や部活動、地域ボランティア活動などに積極的に取り組み、学校生活を活気あふれる有意義なものにしていきたいと考えている生徒。</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 授業改善（主体的・対話的で深い学び）を通じた生徒の基礎学力定着
- イ 商業に関する専門性を高めるとともに、地域社会や課題解決に応用・実践する力の涵養
- ウ 規範意識を高め、公共心を育む生徒指導
- エ 安心安全な学校作り
- オ 改革を意識した職務執行

様式第1号

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	(ア)教科指導力の向上	・ICT機器等を活用した「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実践を目指し、授業改善を推進する。	・「ICT機器や一人一台端末を効果的に活用するなど、教え方や教材に工夫がある」と答える生徒80%以上。 ・「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒80%以上 ・「授業で対話や発表の時間がある」と答える生徒80%以上	教務課 全教員
		・ユニバーサルデザイン（UD）を意識した授業資料、板書の工夫	・授業のUD化を実践する教員90%以上	
		・教員相互の授業参観と評価	・2回以上の授業参観をした教員90%以上。	
	(イ)生徒の基礎学力の定着	・「学びの基礎診断」を実施し、生徒の基礎学力の把握と向上を図る。	・基礎学力向上委員会を開催して結果検討を行い、改善案を提案する。	進路指導課
			・家庭学習を週5日以上行っている生徒50%以上（R5 44.1%）	各学年部
		・図書館の整備と朝読書や長期休暇中の読書指導を活用した継続的な読書指導	・年間で3冊以上の読書をした生徒70%以上。	図書課
イ	(ア)商業に関する専門知識・技能の習得	・各種検定合格に向けた丁寧な学習指導	・検定取得に向けて主体的に学習に取り組んだと答える生徒70%	商業科
			・全商検定の簿記又は情報処理の2級を取得した生徒80%以上（1年生） ・全商検定の1級を受検した生徒のうち、取得した生徒50%以上（2年生） ・2年生で新たに商業系やその他の検定を取得した生徒70%以上（2年生） ・最終学年として新たに商業系やその他の検定に挑戦した生徒70%以上（3年生）	商業科 各学年
	(イ)地域の資源・課題を意識した教育活動の実践	・実践的、体験的学習活動を意識した「課題研究」の充実	・『課題研究』の中で、実践的、体験的活動を行った」と答える生徒80%以上	商業科

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> 産官学連携による地域社会との交流機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 年間20回以上産官学連携による地域社会との交流機会を設ける 	商業科探究課
		<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間（商タイム）」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「他者と協力して粘り強く探究活動ができた」と答える生徒80%以上 「自分自身や地域の課題を考えることができた」と答える生徒80%以上 「積極的に探究活動やフィールドワークに参加した」と答える生徒80%以上 次年度に向けた授業改善と2年次の「総合的な探究の時間」のシラバス作成 	探究課 1年部
		<ul style="list-style-type: none"> 校内外の発表会や授業でのプレゼンテーションの機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究及び総合的な探究の時間の成果報告会の開催 「主体的にプレゼンテーションに取り組めた」と答える生徒70%以上 	商業科探究課
ウ	(ア) 基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマナー教育を通じた規律性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 場に応じた挨拶、身だしなみ、言葉遣い、態度に気を配ることができている生徒90%以上 	生徒支援課 進路指導課 各学年部
			<ul style="list-style-type: none"> 不注意での遅刻ゼロ 	各学年部
	(イ) 特別活動や部活動を通じた豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事やHR活動、生徒会活動、部活動における生徒の主体性、協調性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動に主体的に取り組んでいる生徒80%以上 	生徒支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、生徒会活動、諸活動に周囲と協力して取り組んでいる生徒90%以上 	生徒支援課 各学年部
	(ウ) 地域社会の一員としての意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災や地域行事、地域ボランティアへの積極的な参画 	<ul style="list-style-type: none"> 個人や部活動等の集団単位で地域防災や地域行事、地域ボランティアへ参加する生徒75%以上 	総務課 生徒支援課 各学年部
	(エ) 健康増進のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 自ら体調管理を心掛け、主体的に学校教育活動に取り組む意識付け 	<ul style="list-style-type: none"> 治療勧告を受けた生徒の受診率70%以上 朝食摂取率98%以上 	保健課
			<ul style="list-style-type: none"> 「生活リズムを整えるなど自ら体調管理を意識して生活できた」と答える生徒80%以上 	全学年
	エ	安心・安全な学校作りを推進する	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル講座の開催 「モラルやマナーを守ってSNSを使用している」と答える生徒100%

様式第1号

			・PTA総会や保護者面談において情報モラルに関する情報を提供する。	
		・自他の命を守る通学マナーの向上	・自転車安全指導カードの交付件数の減少（R5年度（年25回）） ・生徒、PTA、教員による交通安全運動の実施	
		・定期的な校則の見直し	・生徒、教職員が共に見直しを行い、必要に応じて改定を行う。	生徒支援課
		・危機管理マニュアル、帰宅困難生徒支援計画に基づいた防災備品の整備	・生徒、教職員の安全を第一に考えた防災備品の整備と点検を年2回実施し、見直しをはかる。	総務課
		・定期的な施設の安全点検及び危険個所の早期把握、迅速な対応	・施設の破損を原因とする生徒、教職員の事故ゼロ	事務部
オ	(ア)ワークライフバランスを意識した業務執行・改善	・部活動ガイドラインに基づいた部活動指導	・部活動ガイドラインに沿った部活動運営に努めつつ、ワークライフバランスの確保ができていない教員75%以上 ・年2回部活動検討委員会を実施し、長期的視野に立った部活動再編計画の検討・策定を生徒とともに検討する。	生徒支援課
		・職務内容の見直しや職務分担の平準化を進め、働きやすい職場環境の整備	・分掌の見直し、再編成 ・職員安全衛生委員会やストレスチェック事業を活用した職場環境の改善	管理職
	(イ)法令に基づいた迅速・適正な業務執行	チェックリストを活用した適正な会計事務執行	・監査、検査等での指摘事項ゼロ	事務部

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、単に校訓や抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。